

製品特長

- 下地がパーテーションや冷蔵庫など鉄板でマグネットが付く場所であれば簡単に貼れてホワイトボードシートになります。
- ホワイトボード専用マーカーで書き消しが出来ます。
- シート長さは、10mまでの1m単位での出荷対応となります。
- 日本製

製品仕様

商品名	ホワイトボードマグネット		
シート色	白		
材料設計価格	¥12,000 / m ²	¥12,000 / m (税別)	
製品寸法	幅:1,000 mm 長さ:10m 厚み:0.8 mm		
販売単位	1m 単位カット出荷(1~10m)		
質量	2.8 kg / m ²		
防火性能	非防火		
ホルムアルデヒド発散等級	—		
施工方法	マグネットで脱着		
マグネット保持力	A4用紙 2~5枚程度 (マグネットの種類・形状による) ※1		
映写性	△ グレアが発生します		
生産国	日本		

※1 目安であり、保証値ではありません。 A4用紙 (64g/m²)。下記「マグネット吸着力について」をご参照ください。

マグネット吸着力について

- 垂直の壁に「ホワイトボードシート」を施工し、評価マグネットでA4版コピー用紙 (64g/m²) が保持出来る枚数です。

メーカー	コクヨ		
製品名	カラーマグネット マク-40N	マグネットバー マク-201N	マグネットバー マク-T201N
外観			
紙枚数	2枚	5枚	3枚

使用上の注意

- ご使用にあたっては、本技術資料を必ずご覧ください。
- シートへの筆記は、ホワイトボード専用マーカーをご使用ください。消去はホワイトボード用イレーザーを使用してください。ホワイトボードマーカーとイレーザーの選定は、「マグネット吸着力について」、「推奨マーカー・イレーザーについて」をご参照ください。
- マーカーおよびイレーザーの種類によっては、消去性に若干の違いがありますのでご了承ください。
- ホワイトボード専用マーカー以外のペンは使用しないでください。間違えて書いてしまった場合は、すぐにアルコール系溶剤クリーナーで拭き取った後、乾拭きしてください。
- 水性ホワイトボード用マーカーの種類によっては、インクがわずかにはじく場合があります。その時はイレーザーでホワイトボードシートの表面を一度拭いてください。
- シート面を硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。シート表面を傷つけると凹部にマーカーのインクが入り込み、汚れて消せなくなります。
- 書き消しを繰り返しているうちにイレーザーでは消しにくくなる場合があります。また筆記した後に消さないで時間が経つと消しにくくなります。汚れがひどくなった場合は、きれいな布を水で浸し、よく絞ってからシート全面を水拭きしてください。次に乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。市販のホワイトボード用クリーナーのご使用も出来ます。
- マーカーのインクかすがシートに付着するのを防ぐために、定期的にイレーザーを清掃か交換をしてください。

推奨マーカー・イレーザーについて

マーカー

メーカー	ぺんてる	PILOT
製品名	ホワイトボード マーカー	ボードマスター
外観		

イレーザー

メーカー	メーカーは問いません
製品種類	フェルト製イレーザー
外観	

施工前に施工要領書をよく読み、正しく施工してください。

施工にあたり

下地・材料確認

スチール面、黒板、スチールパーテーション 化粧鋼板ホワイトボード(スチール製)	○
ベニヤ、石膏ボード、紙、レンガ、砂壁、ガラス面、クロス モルタル、コンクリート、プラスチックボード	×

施工可能環境

室内	○
屋外、浴室など水濡れがある場所、 直接火が当たる場所、高温になる場所	×

- 商品到着後、輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。中身を確認し速やかにご使用ください。
- 到着した中身はサンプル等で、ご依頼した材料と相違ないことを確認してください。

- 到着後は平坦な場所に横置きで保管してください。縦置き保管は、端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に取り扱わないでください。
商品性質上、一度折れると元に戻りません。

施工時の注意

- 施工前に反りや曲りを取るために平坦な所で平滑になるまで置いて、直してください。反りや曲りがあると貼り付けた後に浮きが発生することがあります。
- 貼り付け面のホコリ、水分、油分等はきれいに拭き取り、十分乾燥させてください。ホコリや汚れのある場所には貼り付けられません。シートが剥がれることがあります。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。変色や変形、はがれ、マーカが消えなくなる等の原因になります。

- シートは厚みがあり、重い(約2.8kg/m²)ので、シート長さが2m以上の場合の**施工は二人以上で行ってください。**
- シートの貼り方向は、施工面積や場所により、縦貼るか横貼りを選択してください。
- 廃棄処理は国および地方自治体の法令に従ってください。
- 用途以外の使用は避けてください。

施工前に施工要領書をよく読み、正しく施工してください。

施工手順

1. 下地基材の確認

- 貼る前に平坦なところに平滑になるまで置いて、巻きぐせをとってください。
- シートが貼れる下地かをサンプルなどで確認してください。
- 貼り付けできる下地でも、汚れ・ホコリ等の付着により、付かない・付きにくい場合がありますので、よく絞ったタオル等で清潔にしてください。
- 下地が湿っている場合は、貼り付けできる下地でも付かない・付きにくい場合がありますので、完全に乾燥させてください。



2. 貼付け

- シート貼り始まり側は仮止めするか作業者が押さえる事を推奨します。
- シート終端側の貼付け時は、シートがまくれて折れない様に注意してください。
- 貼り位置がずれた場合は、静かにシートをはがして、再度目印位置から貼ってください。
- シートは何度も貼りなおしが出来ます。



3. エア抜き・圧着

- 軽く撫でながら、空気をシート中心部から外側に追い出すように抜いていきます。
- シート表面材質のフィルム特性から、**折り曲げると修復できません。まくれ、折れには十分注意してください。**



4. 施工終了

- 施工後、きれいな乾いた布でシート表面をふいてください。

施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱いと残材の保管は、シート表面と端部保護のために立てかけはご遠慮ください。横置きまたは専用段ボール箱に入れてください。
- マグネット面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境によってははがれなくことがありますのでご注意ください。
- シート表面が滑りやすいため、マグネットで取り付けた物の落下に十分ご注意ください。
- シート面を硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。シート表面を傷つけると凹部にマーカーペンのインクが入り込み汚れて消せなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、よく絞り、シート全面を水拭きしてください。次に乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。